

なにになにに交流会―継続した交流に向けて―

でケア研サポーターとして、ボランティア活動を推進し充実させていくことをめざし、学生がボランティア募集の情報発信や活動内容に対し、どのように感じているかの情報収集と分析や、SNSやポスターを活用した地域や学生への情報発信などの活動をしてきました。

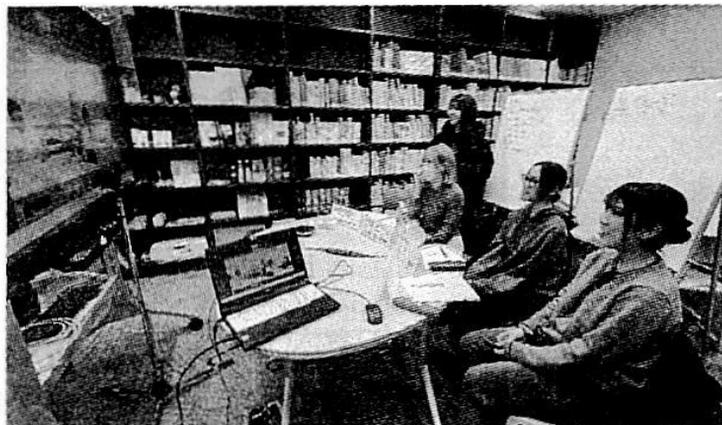
今回はその取り組みの中のひとつとして、学术交流協定を締結している新見公

立大学と名寄市立大学の学生の交流会である「なにになにに交流会」を新見公立大学のスチューデント・アシスタント(以下、SA)の皆さんとオンラインで行いました。

自己紹介から始まった交流会は、趣味などの話題を通して会話が弾み、少しずつ緊張がほぐれたことで和やかな雰囲気

特徴があるなど、互いの大学や地域の違いや似ている部分を知ることができ、より関心が深まってきました。

また、学内探索を行い、大学内のおすすめスポットや、学科の特色を感じられる設備を紹介し合いました。これらの中で、校舎の構造や学生生活にその土地の



き、今後の活動に向けての意欲がより高まっています。

たことが無かったのですが、今回参加したことで、それぞれの大学の特色や学生生活を知り、新見と名寄のそれぞれの良さを感ずることができ、今後の意見交換をケア研サポーターとしての活動や対面交流へつなげていきたいと感じました。

看護学科2年
久保木暁美